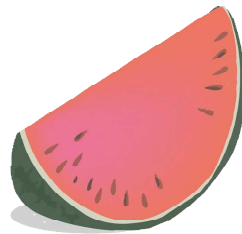




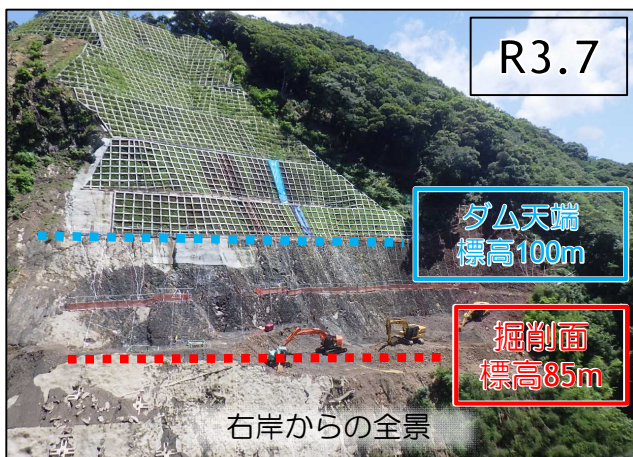
和かつば

梅雨が明けました(7/19)。夏といえば、花火、プール、すいかなど思い浮かびますが、今夏の予定はいかがでしょうか。これから本格的に暑い日が続きますが、小まめな水分補給などの対策を取って、暑い日々を乗り切りましょう。

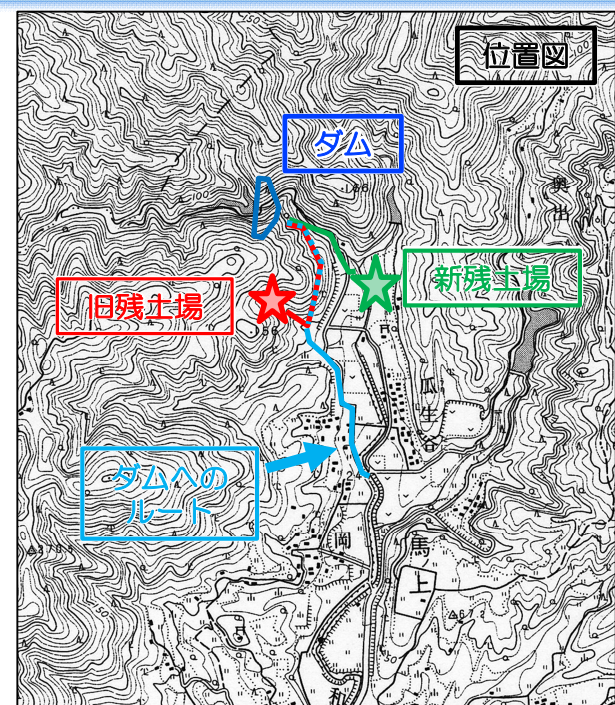


和食ダム 現在の様子

これまでに引き続き左岸側の再掘削を進めており、6月末時点において**標高85.0m**までが完了しました。現在は、標高80.0mに向けて掘り進めているところです。ここ最近、雨や雷が鳴る日が多く見受けられますが、安全には十分に注意して引き続き工事を進めて参りますので、よろしくお願いします。



新残土処理場について



新残土処理場について、現在は写真左のようにおおむね完成(赤線部)しました。今後は青線部の盛土を仕上げて行く予定ですが、施工上の都合で一旦残土運搬作業は**旧残土処理場**へと切り替えていきます。そのためダムを見学される際には、一般車両とダンプとのすれ違いでご迷惑をおかけするかとと思いますが、何卒ご了承ください。

また、盛土が完成した法面については、写真中央のように法面を保護するために**植生基材吹付工**を行っています。写真右は、「**植生基材吹付機**」ですが、これは吹き付ける材料を混ぜるために使われています。その仕組みは、コマツナギ、イタドリなどの種子や肥料、基盤材を**赤線部のベルトコンベア**からタンクに流し込み、仕上がりかムラにならないようにタンクを回して**攪拌**します。出来上がった基材は、ポンプで斜面まで圧送して吹付作業を行い完了となります。



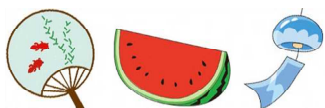


西地橋が完成しました



昨年10月から工事を行っていた西地橋が5月末に完成しました。橋の架け替え工事のため長らく通行止めとなり、ご不便をおかけしましたが、地域の皆さまの迂回等へのご協力のおかげで完成させることができました。本当にありがとうございます。

以前の橋の幅員は2.5mほどでしたが、架け替えたことで4.0mまで幅員が広がり通行しやすくなりました。ぜひご利用ください。



石塔について

西地橋の架替え工事に伴い、隣接していた瓜生谷地区の石塔が移設されました。

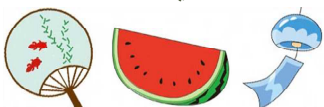
この石塔について、仁井田神社の宮司さんに話を伺ったところ、造られた時代は詳しくは分かっていませんが明治以降に造られ、その後昭和42年頃に再建されているようです。そのルーツは、御利益を授かるために香川県の琴平神社（金刀比羅神社）から※分霊ぶんれいしてもらったのが始まりだそうです。昔の人は、こんぴらさんの「金」の文字からお金を連想したようで、作物が多く実り、生活が豊かになるよう願いを込められて造られました。

御霊の象徴としてかつては水晶玉がお祀りされていたようです。

※本社の神様から御霊の一部を分けて祀ること



移設後の石碑



芸西村の史跡紹介【第30弾】

《仁井田神社》

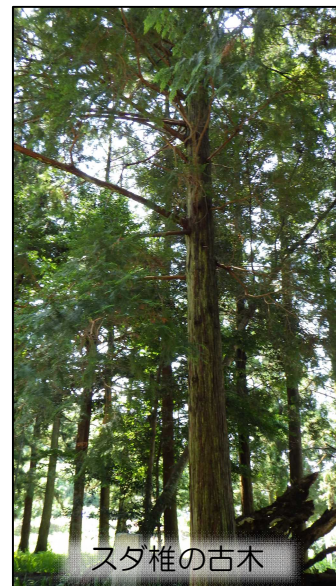
うりゆうだに うしがみ

瓜生谷の氏神、仁井田神社は瓜生谷の北の端、森の中に西向きに建っています。祭神は、訶遇突智神、以下五柱である大山祇神、中山祇神、麓山祇神、正勝山祇神、離山祇神で、慶長十五年（1610）に創立されました。

古き時代に多くの神社は照葉樹林に覆われていましたが、昭和初期に入り、檜ひのきや杉が植林されました。仁井田神社には樹齢幾百年とも分からぬスタ椎すいの古木があり、神社の歴史を象徴しています。



仁井田神社（瓜生谷）



スタ椎の古木

